



教育目標 「学ぶ心 自主の心 思いやりの心」

校 訓 「勤労 自主 誠実」

八王子中学校

令和8年2月4日

八王子市立元八王子中学校

校長 東内 竜吾

<http://hachioji-school.ed.jp/mthtj/>

ランニングマン

校長 東内 竜吾

2月といえばスーパーに豆が並ぶ時期です。そもそもなぜ、鬼のパンツは「虎の毛皮」かご存じでしょうか。実は、鬼の出入りする方角（鬼門）が『丑寅』だからだそうです。つまり牛の角を生やして虎のパンツを履いているということです。いわばファッションモンスターです。また、節分といえば、年の数だけ豆を食べる習慣がありますが、最近では食べなきゃいけない豆の数が①フタンに感じる年齢になってきました。ほどほどにしたいと思います。そんな節分の“豆”知識2つを紹介しました。

さて先日、第1学年が校外学習でスキーを②ケイケンしてきました。私が担任だった頃の思い出が蘇ります。講習中、ハの字（ボーゲン）で滑り出したものの、加速が止まらずパニックになる生徒。私はその生徒に向かって、「止まってー！」と叫ぶ声が背中を押したかのように、そのまま誰もいない森の中へ吸い込まれていったあの後姿がいまだに忘れられません。また、宿では、班員のスリッパをそっと並べてくれる生徒。食事が終わり、みんなが「ごちそうさま！」と騒がしくなった時、当番でもないのに仲間と会話をしながら、お茶碗を重ねてくれます。そんな何気ない姿を見ることに幸せを感じていたことを思い出します。こうした思い出を振り返るうちにふと考えたことがあります。

----これまでは「学歴社会」の③インショウが強い時代だった。偏差値の高い学校に入り、いい会社に入って、高い給料をもらうのが成功のイメージだった。しかし、これからは「心の時代」。知識にはあまり価値がなく、わからなければ、④ケイタイ電話でもPCでもすぐ調べることができる。すなわち、「IQ(知能指数)の時代」から「EQ(心の知能指数)の時代」へと変わってきている。

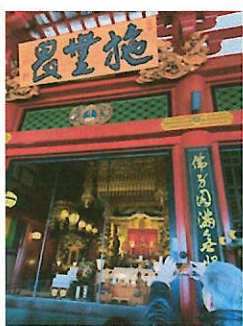
私はEQとは「エモさ」だと思っている。そして、「エモい」とは「共感できる心」ではないだろうか。「エモい歌」が最初からあるわけではなく、その歌を聞いた瞬間に、自分自身が「いい曲だな」と共感できるかどうかである。共感できる心を育てるには「新しい経験」をすること。これから先、いくらでも新しい経験が待っている。恐れずチャレンジしてこう。成功はもちろん、どんどん失敗もしていい。そのチャレンジの積み重ねがEQを高め、他人に共感できる⑤やさしい人へと成長していくはずである。----

「初めてのスキーで、いっぱい転んだ。恥ずかしかった、悔しかった。でも、数年たった今は、初めてスキーをする人が転んでしまった姿を見ると、「その気持ちわかるなあ、恥ずかしく、悔しんだろうなあ」と心から思える。なんだか、この⑥コウケイ、エモい.....。」



8組2年生 校外学習

1月23日(金)
素晴らしい天気の中、キラキラする



ような経験ができました。八王子駅を出発し、東京駅に到着。先生たちを入れて、仲間全員で記念写真。レンガが正確に積まれていてきれいでした。スカイツリーの大きさに圧倒されます。願いを込めて、お賽銭を投入。なんだか清々になりました。



最高の雪と最高の仲間



1年生 スキー教室です



1月28日(水)～30日(金)3日間の校外学習にて、スキー講習を行いました。初めてスキーを経験する生徒はブーツをはくのも苦労していたのが、3日目にはリフトに乗り頂上から滑り降りてくるまで成長しました。5分前行動もできました。そして、仲間の優しい一面を見ることができ、実りある3日間でした。